

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 仁摩福祉会	代表者	石橋 秀利	法人・ 事業所 の特徴	大田市の中心にあり、海、山、川が近くにあり街中に出やすい環境で、祭り事や催事に出掛けやすい。家庭的な雰囲気のある事業所で、季節の食材にこだわり健康に配慮した手作りの食事を提供している。また、月の行事を大切に、利用者、家族と一緒にやっている。
事業所名	小規模多機能居宅介護事業者えがお	管理者	渡辺 絵利子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	人	1人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価委員の方に、言葉の説明やわかりやすくするような配慮をする。項目について理解を深める。	説明不足、きちんとまとめてなくわかりにくい部分があった。取組み等は記載し伝える事ができている。	改善計画の具体的な取組みができていると思う。今後も継続して欲しい。職員は良く頑張っていると思います。	今年度も引きつづき評価委員の方の解りやすい説明ができるように配慮をして行く。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方に事業所での行事に参加の呼びかけ、入りやすい環境を整える。	換気や加湿調整、手すりや椅子の消毒等は実施できている。施設見学や納涼祭を開催する事ができた。	レイアウトや季節の工作等雰囲気が伝わって良い。玄関から心地良い空間が出来ている。入口の所へゴミ箱の設置をお願いしたい。	接遇やマナー等の研修を行い心地良い接遇を行う。引き続き心地良い空間を作る。入口にゴミ箱をすぐに設置する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域に方に来ていただけるように夏祭りを企画する。広報等ですっかりお知らせをし、事業所や小規模多機能型居宅介護支援事業所のサービスを知って頂く。	納涼祭や実習生の受け入れはできている。広報のお知らせや事業所のサービスについてはできていない。	文化祭への参加、納涼祭等発信を積極的に出来ている。どのような事業者かわからないとの地域からの声があるので、もう少し地域との関わりがあれば良いと思う。	今年度も地域とのかかわりを大切にするために納涼祭を開催する。また広報を作成し地域へ発信して行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の住んでいる地域の行事を情報収集して、参加をして行く。	地域のイベント等情報収集できているが、出掛けていない地域もある。	利用者の地域への参加は少しずつだが取組みできていると思った。地元の方が少なく残念に思う。	今年度も地域の行事を大切にして積極的に交流を深めて行く。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営会議で、地域の方からの心配事や相談できる場所を示せる仕組み作りをする。 家族へのアンケートを実施し、家族の声を聞いてみる。	運営推進会議等での相談できる場所作りにならなかった。アンケート実施できていない。家族の相談がある時は、担当と担当者会議を実施する事ができた。	利用者家族へのアンケート実施は必要に思う。どのような期待をされ、それに応えられるか明らかになると思う。	家族アンケートを実施し家族の声を聞いてみる。
F. 事業所の 防災・災害対策	事業所の防災訓練への参加して頂けるように声掛けを行う。	事業所の訓練は実施されているが、地域の参加できていない。	地域に訓練が実施されていない為参加難しいのではないかと。募集や依頼をお願いしてみるのも良いのではないかと。	防災訓練や災害訓練に参加して頂けるように声掛けを行う。